

生駒市農業ビジョン推進懇話会 第10回会議録 (要点筆記)

- 1 開催日時 平成30年3月26日(月)午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 生駒市役所 4階大会議室
- 3 参加者 相川氏 池上氏(座長) 石丸氏 井上氏(副座長) 上武氏 田中氏 樽井氏 中世古氏
中田氏 中村氏 平沢氏 松井氏 (五十音順)
- (事務局) 岡田経済振興課長 巽経済振興課長補佐 高橋農林係長 木村農林係員
長田農林係員

4 会議の公開・非公開 公開 傍聴人数 なし

- 5 議題 (1)「農家アンケート調査」の進捗について
(2)「生駒市農業ビジョン」の進捗状況及び今後について
(3)「人・農地プラン」について
(4)その他

6 審議内容

- (1)「農家アンケート調査」の進捗について

座長 ご意見・ご質問はあるか。

参加者 農業形態について、兼業農家が52%であると報告があったが、残りの48%が専業農家に分類されるということか。

事務局 48%の内訳を説明すると、19.6%は自給的農家で、その他にも耕作をしていない人を含む。専業農家に分類されるのは1%程度である。

座長 今後の分析の仕方について、回答者について高齢者が多いように見えるが若い人もいるため、世代別の統計をとってほしい。40歳代までは一括りにして、50歳以上からは5歳刻みにした統計をとったらどうか。地産地消を進めるうえで、直売所の増設が必要であると考える人が多かったようだが、現状どこに直売所があって、どのあたりに作る必要があるかなど示してもらえると良い。農地条件の整備については、農道整備が必要であると考える人が多かったようだが、地区別で変わってくると思うため、地区別でも統計をとって見たらどうか。

参加者 軽自動車が入れるような農道があると若い人も就農を始めやすいと思う。

座長 今後の農地の利用について現状維持の希望が多いので、いかに後退させないかが大切である。他にご意見・ご質問はあるか。

副座長 鳥獣被害が増えている。防除柵の設置等に対する補助金の実績はどうなっているか。

事務局 補助金の申請実績は増えている。農家の人にとって今より活用しやすいものにするため、補助金要綱の改正を考えている。

副座長 同じ農地での補助金申請は5年間はできないと聞いたが、期間を3年くらいに短縮できないか。

事務局 補助金であるため耐久性が高いものを設置してほしいという考えと、幅広く多くの人に利用してもらいたいため5年間という期間にしている。

副座長 補助金が少ないため、耐久性が高い防除柵は設置できない。はじめに徹底的にお金をかけて柵を設置したい。

事務局 昨年度、北・南地区で獣害対策についての説明会を行った。先日もある農家区において詳しい説明を求められたため、県の獣害専門の職員を呼んで講習会を行った。奈良県内において獣害対策でうまくいっているのは、集落や集落より少し小さい単位で防除柵の設置に取り組んでいるところである。維持管理についても、県の人にアドバイスをもらいながら地域で取り組んでいる。やる気のある農家区に対して、支援していきたい。獣害対策についてはこれといった抜本的な対策はないが、集落に対して柵等の原材料を市が支援して、地域による地道な取組をしていく必要がある。

(2)「生駒市農業ビジョン」の進捗状況及び今後について

座長 ご意見・ご質問はあるか。

参加者 駅前ベルテラスでの農産物の販売について、売上げはどれくらいあるのか。

事務局 おちやせんでの販売について売上げは把握していないが、リピーターの人がいる人気のコーナーになっている。現在は、野菜を出荷してくれる人を探している状況である。車だけではなく、電車でも買いに来てくれている人はいるようである。

参加者 農産物の直売所の増設について、販売場所が足りていないということだが、最近近江八幡の直売所にいったところ活気があった。年配の出荷者の方が生き生きしているし、交流の場にもなっていた。ベッドタウンになっている生駒市は立地的に良いのではないかと思う。

副座長 農業振興協議会が行っているベルテラスでの青空市場については、日曜日の開催であるため人通りが少ないが、顔なじみのお客さんはいる。駐車場の利用は30分までが無料であり、少し時間が短いため、車に乗って来てくれる人が少ない。

参加者 商店街活性化のために、車を横付けできるような場所を確保したところがある。

副座長 青空市場について、他のイベントと同時開催の時はお客さんも多く来てくれるが、単独でのイベントでは人を集めることが難しい。

参加者 近くに農産物を安く販売するスーパーがあるため、どうやって付加価値をつけていくかが難しい。

参加者 軽トラ市については、どうなっているか。

副座長 北コミュニティセンターで毎月第3週木曜日開催の関西ワンディッシュユエイド協会のもったいない食器市と同時開催で行っている。農業振興協議会から各回2部会ほど出店している。

参加者 神社などで青空市場ができないか。野菜と神社の組合せは雰囲気が良いと思う。

参加者 大阪から奈良を過ぎて京都まで野菜を買い求めに行っている人がいることについて、もったいなく感じる。

参加者 直売所の増設について、生産者の数を増加させ常に農産物を出荷できるようにすることが重要である。

参加者 農家の人やる気が出る対策をしてほしい。売れて評価されることによって、やる気が出ると思う。

参加者 本市は南北に長く、北・中・南それぞれ特色がある。地区によって分析して、販売したいとアンケートに回答している人で氏名が分かる人には直接働きかけるなどして、アンケートを活用したらどうか。

座長 直売所について、商店街と連携しているところや近江八幡に研修に行くなどして、勉強させてもらいたい。

(3) 「人・農地プラン」について

座長 人・農地プランについて、承認してもらえるか。

参加者 はい。
(全員)

(4) その他

事務局 次回の懇話会の開催は、5月下旬頃を予定している。